

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公表番号】特表2016-529922(P2016-529922A)

【公表日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-502152(P2016-502152)

【国際特許分類】

A 6 1 M 16/00 (2006.01)

A 6 2 B 7/04 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 16/00 3 4 3

A 6 2 B 7/04

A 6 1 M 16/00 3 1 5

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年9月3日(2018.9.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

換気装置であって、前記換気装置は、

圧縮された酸素強化ガスを備えた酸素源に連結される入口ポートと、

患者の呼吸経路に装備されるように構成された患者インターフェースにガス送達導管を介して連結される出口ポートと、

前記入口ポートに空気連通可能である入口と、前記出口ポートに空気連通可能である出口とを有する弁と、

患者インターフェースの圧力を測定する第 1 の圧力センサであって、前記患者インターフェースは圧力センサラインを介して同第 1 の圧力センサに連結されている、第 1 の圧力センサと、

弁出口圧を測定する第 2 の圧力センサと、

前記第 1 の圧力センサ及び前記第 2 の圧力センサと連通しているコントローラであって、前記第 1 の圧力センサの測定値と前記第 2 の圧力センサの測定値との圧力差に基づいて、患者の吸気相及び患者の呼気相を検出するコントローラと、

を含み、前記圧縮された酸素強化ガスは、検出された患者の吸気相の間に前記患者インターフェースに送達され、かつ検出された患者の呼気相の間に排出され、

前記コントローラはトリガリミットを決定することによって前記患者の吸気相を検出し、前記トリガリミットは、所定のトリガ定数に前記圧力差の平均を加算したものによって定義され、前記患者の吸気相は圧力差が前記トリガリミットより大きいときに検出され、

前記コントローラは、周期定数を乗じた最大圧力差によって定義される周期リミットを決定することによって前記患者の呼気相を検出し、前記患者の呼気相は圧力差が前記周期リミットよりも小さいときに検出される、換気装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 15】

前記所定のトリガ定数は医師によって入力される値である、請求項 1 に記載の換気装置。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 16

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 16】

前記所定のトリガ定数は患者によって入力される値である、請求項 1 に記載の換気装置

。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0033

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

一実施形態に従って、トリガリミット 102 が設定されるか、そうでなければ、 ΔP 及び／又は Q の平均として計算される。より詳細には、時間 (t) におけるトリガリミット 102 は、平均 ΔP 又は時間 (t) における流れに所定のトリガ定数を加算したものであり得、それは、医師又は患者によって設定され得る。仮に、(t) における圧力差 ΔP 及び／又は流れ Q が、同じ時間 (t) におけるトリガリミットよりも大きい場合、患者は吸気相の状態にあると考えられる。